



日野市立カワセミハウスは旧環境情報センターの機能と地区センター機能を融合して平成29年4月1日に誕生しました。このカワセミハウス通信は日野市の環境に関する情報に加え、カワセミハウスで行われる活動や開催予定の行事・イベントなどの情報を発信していきます。

2016年度(平成28年度)日野市環境白書が発刊されました

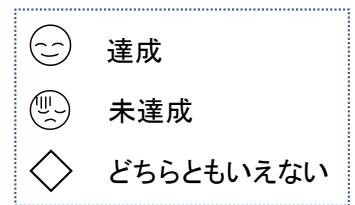
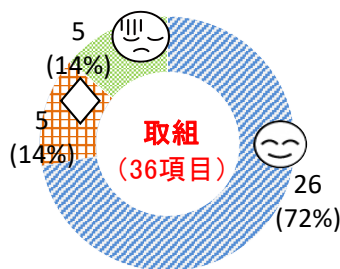
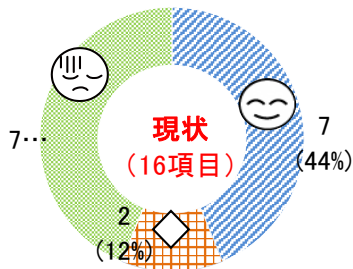
日野市では、環境基本条例に基づき環境に関する年次報告書として「日野市環境白書」を毎年12月に発刊しています。「環境白書」は日野市環境基本計画の柱である5つの分野「みどり」「水」「ごみ」「地球温暖化」「生活環境」のそれぞれの分野ごとに環境指標を設定し、毎年の移り変わりを図表などで示しています。また、市民の皆さんの協力をいただき、計画の進行状況の評価、確認を行っているほか、市の機関、市内の市民団体・学校・事業者などの環境への取り組みについても紹介しています。2016年度日野市環境白書では、より見やすくわかりやすくするために、指標の見直しやデータのとりまとめ方法の見直しを行いました。

2017年12月に発刊された「2016年度(平成28年度)日野市環境白書」の概要は以下の通りです。

●2016年度の環境への取り組みのトピックスとして次の2つを掲載しています。

- (1) 「第1回浅川アユまつり」を開催いたしました!
- (2) 日野用水開削450周年事業

●前出の5分野全体で見ると、環境の現状を評価する指標(16項目)では「達成：計画目標を達成もしくは良くなる傾向」が7項目(44%)、「未達成：計画目標を未達成もしくは悪くなる傾向」7項目(44%)、「どちらともいえない」が2項目(12%)でした。一方、市の取り組みを評価する指標(36項目)では「達成」が26項目(72%)、「未達成」が5項目(14%)、「どちらともいえない」が5項目(14%)でした。環境の現状は厳しいものの、行政や市民の努力がうかがえる結果と言えます。



●分野別の「ここがポイント！」(第2章記載)から

- ①みどり分野…森林の割合、緑被率、農地面積のいずれも減少。緑の減少に歯止めがかかりません。
- ②水分野…浅川の流量(水位)は目標値を未達成の状況が続いています。水辺の景観や河川の生態系への影響が心配です。
- ③ごみ分野…1人1日当たりのごみ排出量は年々減少し、目標値に近づいています。
- ④地球温暖化分野…「ふだん着でCO₂をへらそう宣言」や「環境家計簿」といった市民一人一人の取り組みについては目標値を大きく上回っており、市民の意識の高さは評価できます。
- ⑤生活環境分野…未達成の指標は1つもなく、良好な生活環境が維持されているといえます。

●市の機関、市内の市民団体・学校・事業者などの環境への取り組みについても紹介しています。

環境白書は市の環境に関する様々な情報を集約した内容となっていますので、是非ご覧ください。白書の内容は市やカワセミハウスのホームページに掲載しているほか、市立図書館などで閲覧できます。入手を希望される方はカワセミハウスまでお問い合わせください。2月初めにはダイジェスト版も発行します。また、2月下旬には今回の白書の内容をわかりやすく解説するパネル展をカワセミハウスで開催する予定です。

2016日野市環境情報センター年報VOL. 10が発行されました

2016日野市環境情報センター年報VOL. 10 が発行されました。年報は環境情報センターの活動内容と成果を公開し、センターの活動を市民の皆様幅広く知っていただくことを目指して2005年のセンター発足時から発行しています。

年報VOL. 10では、第1章で2016年度（2016年4月～2017年3月）のセンターの活動の全体を要約して報告しています。第2章ではセンター主催で開催した「みんなの環境セミナー」や「写真展」などの内容や参加者の感想などを紹介しました。第3章では2016年9月に開催された“水と緑の日野・市民ネットワーク”主催のシンポジウム「黒川清流公園の自然」の講演内容や2016年度に実施した環境関連の調査の結果などを掲載しています。

第1章、第2章で紹介したセンターの主な活動をみると、市民向けの「みんなの環境セミナー」は市民環境大学と雑木林ボランティア講座の公開講座を含め9回開催、148名の市民が参加しました。「写真展」は日野で見られる昆虫、魚、野鳥、小動物の写真展をあわせて4回開催しました。また、市民団体“ひのどんぐりクラブ”との協働で小・中学校向けに実施している環境学習会は、82回の出張授業を行い約7,400人の児童・生徒が参加しました。そのほか、環境関連の行政・市民団体・大学との連携や支援についてもその活動内容を紹介しています。施設の利用状況をみると、年間の来館者数は2,656人、そのうち会議室の延べ利用者数は1,583人でした。

第3章では、シンポジウム「黒川清流公園の自然 シリーズ④生き物たち」の講演内容のほかに、中央大学経済学部との協働事業として実施した「黒川清流公園の経済価値に関する市民の意識調査」の調査結果や、近年水量の減少が危惧されている浅川について「浅川の水量的変化についての統計データ解析結果」を報告しています。

昨年度の年報ですすでにお知らせしましたが、環境情報センターは2017年3月末をもって解散し、その機能は2017年4月東豊田にオープンした「日野市立カワセミハウス」に移行しました。したがって、環境情報センターとしての年間の活動報告書を発行するのは今号が最後となります。環境情報センターかわせみ館の活動を長年にわたって支えていただいた皆様に心より御礼申し上げます。

「第10期市民環境大学」講座生募集！環境問題に関心のある方参加してみませんか

市民環境大学は、地球規模から身の回りの環境まで幅広く知り正しく考えることで、問題解決のためにみんなでできることを実践することを目的とした講座です。講座は5月から7月の前期と、10月から12月の後期に分けて合計20回開かれます。前期後期を通して出席された方には修了書をお渡しします。9期までの講座修了者は累計で140人です。講座の内容は身の回りの環境の基礎から大学で行っているような専門的なものまで含んでいます。 「地球温暖化の影響と対策」「水質汚染と対策」「黒川清流公園の自然」など、いろいろな事例や最近の話題などを取り上げわかりやすく説明するほか、黒川清流公園の水、植物、鳥などについて現場で学びます。どうぞお気軽にご参加ください！OB会もあり月2回ほど活動しています。

＜募集要項＞

開催期間：前期 平成30年5月～7月（全10回）
後期 平成30年10月～12月（全10回）
時 間：毎週木曜日 午前10時～12時
場 所：カワセミハウス内集会室
対 象：18才以上の日野市在住者または在勤者
定 員：20名（先着順）
受 講 料：無料
申込締切：平成30年4月14日（土）

*お申込みは3月15日より日野市立カワセミハウスへ電話またはFAXをお願いします。（最終面参照）

「第14期日野市雑木林ボランティア講座」講座生募集！雑木林の大切さを学びましょう

現在、放置されたままになっている雑木林は、わずか50年前まで私たちの暮らしにとってかけがえのない大切な場所でした。日野市雑木林ボランティア講座は、昔のような明るく健全な雑木林を維持管理し次世代に引き継ぐことを目的に、市民と行政の協働で平成17年にスタートしました。12期（平成28年度）までの講座修了者は累計で242人になっています。今期（13期）も30人の方が講座に参加しています。この講座を通して専門的な知識や技術を習得した雑木林ボランティアを育成し、新しい緑の保護団体を設立したり、既存の緑の団体で活躍してもらおうと頑張っています。講座は雑木林の基本的な講義から始まり、手道具、刈払い機、チェーンソーの実習など雑木林の管理ノウハウを、1年間（5月～翌年3月の全11回）にわたって習得するものです。是非、本講座に参加し、一緒に楽しい汗をかきながら雑木林の大切さを学んでいきましょう！

＜募集要項＞

主 催：水と緑の日野・市民ネットワーク他
開催期間：平成30年5月～平成31年3月
時 間：毎月、第2もしくは第3土曜日
(全11回)
午前9時30分～午後3時
実施会場：カワセミハウス、南平丘陵公園他
対 象：日野市在住者または在勤・在学者
定 員：20名（先着順）
参 加 料：1,000円（資料代など）
申込締切：平成30年4月11日（水）

*お申込みは3月15日より日野市立カワセミハウスへ電話またはFAXをお願いします。（最終面参照）

第1回「オクトーバーフェスト」が開催されました 大盛況でした

11月4日（土）13：00～17：00、「第1回オクトーバーフェスト」がカワセミハウス全館を使用して開催されました。カワセミハウス協議会有志が主催し、「カワセミハウスを使っている人たちの“つながり”をつくる」を目的に約20団体が参加しました。こだわり・つながり・チャレンジを合言葉に、日野のTOYODABEER、新潟県十日町産の布川米、日野産野菜をメインに参加団体による出店や活動紹介のパネル展示、工作体験など盛りだくさんのイベントが実施されました。TOYADABEERや布川米のおにぎりは大人気で、特にTOYODABEERは早い時間に売り切れて残念！という声も聞かれました。また、参加団体のボランティア精神あふれる対応、イベントを訪れた皆さんと参加団体の方々との交流、大人や学生や子どもたちの交流も活発で、500人を超えた来場者は、大人も子どもも大いに楽しみ大盛況でした。



開会の挨拶



布川米の試食と販売



芝生広場で楽しいひととき

日野用水開削450周年記念シンポジウムが開催されました

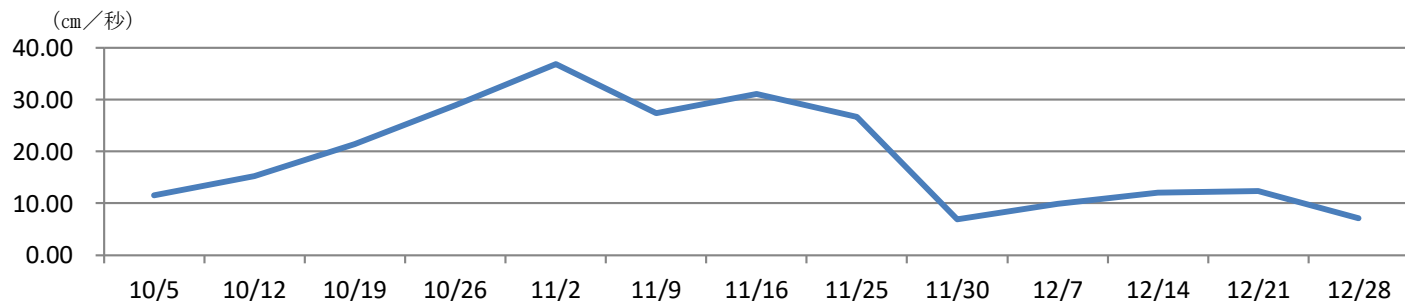
10月15日（日）13：00～16：30、ひの煉瓦ホール（市民会館）小ホールで日野用水開削450周年記念シンポジウム「日野用水開削450年～昨日と今日・そして明日へ～」が200人以上の市民が参加し開催されました。第1部の基調講演「土地・水・緑／暮らしのデザイナーヴェネツィア・東京・そして日野一」では法政大学デザイン工学部教授 陣内秀信氏を講師に迎え、「水都・日野の潜在性」を今後どうデザインすれば魅力ある近郊都市になるのかなどについて講演がありました。第2部は清流ポスター「残そう！緑と清流のひの」入選作品表彰式で市内小学校より募集した1,310点から選ばれた最優秀賞を含む15作品が表彰されました。第3部は日野用水450周年記念事業推進委員会委員北村敏氏から日野の用水と水田の現状についての解説のあと、「日野の用水の現状と課題」と題した5人のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。水田耕作の現状、援農の成果と限界、都市農業基本法など農地と用水をめぐる制度、学校教育としての用水学習の今後、日野のまちづくりの中での民官学の関わりと連携のありかたなどといったテーマについて活発な意見交換がなされました。シンポジウムの最後に共同宣言「水の郷 日野を次世代に」が採択され、シンポジウムは盛況裡に終了しました。

黒川清流公園の水路での湧水量測定結果 10月～12月

カワセミハウスでは2017年4月から毎週木曜日の朝、黒川清流公園あずまや池出口の水路で湧水量測定を実施しています。水路幅、水深、流速を測定し、これらのデータをもとに、1秒当たりの流量を算出します。また水温や電気伝導率も測定、湧水量に大きな影響を与える降水量についても、前回測定日から今回測定日前日までの7日間の八王子地区降水量（mm）を参考にしています。

11月25日（土）から発泡スチロール球による流量測定から「流速計ケネックVR301」による測定に変更しました。今までの測定値は補正した数値に修正してあります。

<10月～12月の流量推移>



*4月から12月の1回当たり平均流量、月間推定流量、月間降水量は下表の通りです。10月と11月は台風による大雨の影響で月間推定流量が大幅に増えています。

測定月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1回当たり平均流量(ℓ/秒)	9.1	7.4	9.8	10.8	12.3	13.9	19.3	25.8	10.4
月間推定流量 (t)	23,640	19,928	25,296	28,884	32,955	36,039	51,570	66,900	27,721
月間降水量 (mm)	113	70	97	125	176	158	559	110	14

■11月～2018年1月前半の活動報告

10月21日(土) みんなの環境セミナー「里山づくり」開催

9:30～15:00、雑木林ボランティア講座の公開講座としてカワセミハウスで開催。午前中は里山の自然と保全活動をテーマとした講演会が行われました。講師は明治大学農学部教授倉本宣氏です。里山では植生管理だけでなく、生物多様性の生態系管理が重要なことを学びました。午後はカワセミハウススタッフが植物の見分け方や名前の由来について解説しました。参加者は講座生22名、応募市民4名、合計26名でした。



11月25日(土) みんなの環境セミナー「みどりと水の原風景 みてみて! 程久保川」開催

13:30～17:00 開催。参加者は9名でした。前半は里山の原風景を感じながら多摩動物公園より上流の源流域、後半は下流の三面コンクリート護岸された区間を歩き、みどりと水のつながりや川のあり方について考えました。主催は日野市環境基本計画推進会議みどりグループです。

11月28日(火)～12月3日(日) カワセミハウス写真展「日野の植物たち」開催

昨年10月に「日野の自然を守る会・植物研究グループ」がまとめた報告書『次世代へ残したい日野市重要自然地域の植物相』をもとに、日野市内で見られる植物を次世代に残していきたい希少種を中心に生育地別に分類して66枚の写真で紹介しました。

12月7日(木) みんなの環境セミナー「黒川清流公園の冬を探そう！」

10:00～12:00、市民環境大学公開講座として開催。講座生19名と応募市民7名が参加、黒川清流公園を歩きながら葉を落とした雑木林を訪れる野鳥たちを観察したり湧水の様子を見たり、冬の公園の自然を満喫しました。



12月9日(土) カワセミハウス年末大掃除!

12月9日(土) 午前中、カワセミハウス協議会有志21名とカワセミハウススタッフが協力して館内の大掃除を行いました。4グループに分かれてフリースペースや集会室、ロフト、トイレ、窓ガラスなどをきれいに掃除し新しい年を迎える準備を整えました。

2018年1月後半～3月の行事・イベント予定

1月27日(土) みんなの環境セミナー「今が旬! 冬芽の観察会」

元信州大学農学部助教授で冬芽観察の第一人者馬場多久男氏を講師に迎え、黒川清流公園で冬芽の観察会を行います。定員は25名。1月1日発行の広報「ひの」でお知らせしました。

1月28日(日) みんなの環境セミナー「親子で楽しむ野鳥かんさつ」

日野の自然を守る会の金子凱彦氏らを講師に迎え黒川清流公園の雑木林で野鳥観察会を行います。冬の明るい雑木林では野鳥がとてよく見えます。定員は親子15組。1月1日発行の広報「ひの」でお知らせしました。

1月23日(火)～30日(火) カワセミハウス写真展「日野の野鳥たち」

カワセミハウスで開催。日野の自然を守る会の協力で日野で見られる野鳥たちを紹介します。1月1日発行の広報「ひの」でお知らせしました。

2月20日(火)～25日(日) 2016年度日野市環境白書発表パネル展

2016年度環境白書の内容をわかりやすく解説するパネル展を開催します。2月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。

3月3日(土) 蟹江杏さんコラボ事業 絵本発表会

3月3日に絵本の完成発表会をカワセミハウスで開催します。どんな素敵な絵本ができあがるか、皆さんご期待ください!

3月17日(土) 日野市生物多様性地域戦略シンポジウム

2018年度からスタートする日野市生物多様性地域戦略のシンポジウムが開催されます。会場はカワセミハウスです。

2月17日(土) 第10回日野市環境フェア開催

10周年を迎えた「ふだん着でCO2をへらそう」事業の活動を発表します。豪華賞品が当たる抽選会もあります。会場は日野煉瓦ホールです。皆さんお誘いあわせの上、是非ご来場ください!



《カワセミハウス施設概要》

開館時間: 9:00～21:30

休館日: 毎週月曜日、年末年始 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

情報発信ラウンジ: 環境・地域のコミュニティの場や、散策時の休憩所としてご利用できるフリースペース

オープンキッチン: IHクッキングヒーターやオープンレンジを常備

集会室: 会議等で利用できる集会室3室 (各室約30名収容)

可動式パーティションを取り払い大きな部屋として使用可能
その他、授乳室、芝生広場もあります。

カワセミハウスは地域のコミュニティの場として集会室や情報発信ラウンジ等をご活用いただくことができます。

申請方法: 使用日の属する月の3か月前の1日 (各月最初の開館日) から使用当日までにハウス窓口に使用申請書を提出

*電話での仮予約も可能ですが仮予約後7日以内に窓口申請が必要です。

使用料: 集会室1・2・3とも

午前 (09:00～12:00) 300円

午後 (13:00～17:00) 400円

夜間 (18:00～21:30) 350円

全日 (09:00～21:30) 1,050円

*集会室は1室ごとの料金です。

*環境市民団体や自治会等は使用料が減免になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

*集会室以外は無料で利用できます。

発行 日野市立 カワセミハウス

〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1

Tel/fax: 042-581-1164

Eメール: kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp